



宝塚市立売布小学校 校長 藤山 昌生



校内の花壇の花が咲き始め、1年生が植えたチューリップの芽からも春の訪れを感じます。早いもので、売布小学校での教育活動も1年間の最後の月を迎えます。それとともに、別れの季節となりました。中でも6年生は卒業という「節目」を迎えることとなりました。3月22日(金)に卒業式を行います。今年は114名の6年生が巣立っていきます。6年生はこの1年間、売布小学校の最高学年として、たくさんのことにチャレンジし、委員会活動や1年生への優しいサポート、登校班等でその役割を果たしてきました。また、他の学年も3月25日に修業式を迎えます。

「節目」というのはもともと木材や竹の節のことで、転じて物事の区切り目となる大切な所や時期を示す言葉です。私は子どものころ竹林に囲まれたところに住んでいましたので、気が付けばいつもそこに竹がありました。竹は成長がとても速く、タケノコが生えてきたと思っていたら、見る見るうちに青竹へと成長していきます。そして成長とともにしっかりと大地に根を張ります。また、台風などの強風にもその「しなやかさ」でしっかりと耐えて成長していきます。

竹のように力強くもあり、しなやかでもある人へとこれから成長していくために、6年生には、あらためてこの節目にこの小学校生活の中で自分がどれだけ成長したかを振り返ってほしいと思います。この成長になくはならなかったのが、人との「出逢い」ではないでしょうか。たくさんの人との出逢いを通して獲得した様々な経験が積み重なり、今の力強さや自信につながっていると思います。そこには当然子どもたち自身が努力を積み重ねてきたことも忘れてはならないと思います。これからも、その時その時のさらなる素晴らしい出逢いに期待するばかりです。

この1年間、保護者のみなさまには本校教育活動へのご理解とご協力いただき、あわせてPTA役員のみなさま方には、数多くの活動で多方面から学校を支えていただきましたことあらためて感謝申し上げます。また、暑い日も寒い日も毎日登下校の見守りをしていただきました地域のみなさま、学校運営協議会委員のみなさま、その他売布小学校を支えていただきました多くのみなさまに感謝申し上げます。今後も引き続き、温かいご支援を賜りますようお願いいたします。



6-1
ファランドール

2/29 6年生最後の授業参観
「ミニ演奏会」



6-2
情熱大陸



6-3
アフリカン
シンフォニー